

## 資料2；重症度分類；

### 重症度分類に関する事項

Cailloux らの分類（下記の項目のうち、該当する項目に☑を記入すること）

	Form 0 運動発達なし
	Form 1 定額まで獲得（2-4歳の間に）
	Form 2 座位まで獲得（2-5歳の間に）
	Form 3 座位を獲得（1-2歳の間に）後、補助歩行まで可能
	Form 4 自立歩行が可能

### modified Rankin Scale (mRS)【該当する番号(0~6)に を囲んでください】

- 0.まったく症候がない 1.症候はあっても明らかな障害はない(日常の勤めや活動は行える)  
 2.軽度の障害(発症以前の活動がすべて行えるわけではないが、自分の身の回りのことは介助なしに行える)  
 3.中等度の障害(何らかの介助を必要とするが、歩行は介助なしに行える) 4.中等度から重度の障害(歩行や身体的要求には介助が必要である)  
 5.重度の障害(寝たきり、失禁状態、常に介護と見守りを必要とする) 6.死亡

### 食事・栄養【該当する番号(0~5)に を囲んでください】

- 0.症候なし 1.時にむせる、食事動作がぎこちないなどの症候があるが、社会生活・日常生活に支障ない  
 2.食物形態の工夫や、食事時の道具の工夫を必要とする 3.食事・栄養摂取に何らかの介助を要する  
 4.補助的な非経口的栄養摂取(経管栄養、中心静脈栄養など)を必要とする 5.全面的に非経口的栄養摂取に依存している

### 呼吸【該当する番号(0~5)に を囲んでください】

- 0.症候なし 1.肺活量の低下などの所見はあるが、社会生活・日常生活に支障ない 2.呼吸障害のために軽度の息切れなどの症状がある  
 3.呼吸症状が睡眠の妨げになる、あるいは着替えなどの日常生活動作で息切れが生じる  
 4.喀痰の吸引あるいは間欠的な換気補助装置使用が必要 5.気管切開あるいは継続的な換気補助装置使用が必要

### 人工呼吸器に関する事項(使用者のみ詳細記入)

使用の有無	1.あり 2.なし								
開始時期	西暦 年 月			離脱の見込み	1.あり 2.なし				
種類	1.気管切開口を介した人工呼吸器 2.鼻マスク又は顔マスクを介した人工呼吸器								
施行状況	1.間欠的施行 2.夜間に継続的に施行 3.一日中施行 4.現在は未施行								
生活状況	食事	自立	部分介助	全介助	車椅子とベッド間の移動	自立	軽度介助	部分介助	全介助
	整容	自立	部分介助	不可能	トイレ動作	自立	部分介助	全介助	
	入浴	自立	部分介助	不可能	歩行	自立	軽度介助	部分介助	全介助
	階段昇降	自立	部分介助	不能	着替え	自立	部分介助	全介助	
	排便コントロール	自立	部分介助	全介助	排尿コントロール	自立	部分介助	全介助	